

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成23年10月

(平成23年9月末調査)

平成23年10月20日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 8月】	諏訪公共職業安定所管内	0.80倍	+0.12ポイント	
手形交換高【 9月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,342枚	△531枚	
	金 額	9,061百万円	△612百万円	
	うち不渡り	枚 数	0枚	±0枚
	発生状況	金 額	0千円	±0千円
電力使用量【 9月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	45,889 MWh	△4.8%	
	高压電力計	99,717 MWh	△8.2%	
	合 計	145,606 MWh	△7.2%	
車庫証明取扱件数【 9月】(諏訪地方合計)		993件	+4.0%	
新設住宅着工戸数【H23.4月～8月】(諏訪管内)		516戸	+20.0%	

□本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

●製造業

自動車部品関連の下請企業の足元の受注水準は、大手メーカーの増産により回復傾向であるが円高の影響による海外シフトの進展が懸念されている。工作機械などの産業設備では、アジア等の海外工場向けの設備は引き続き堅調に推移している。金型では、円高等による先行きの不透明感から新規案件の減少がきかれる。デジタル一眼レフカメラ関連の下請企業の受注は、輸出が好調であることや震災による減産分の挽回等から堅調に推移している。

地域製造業総体の生産水準は緩やかながらも回復傾向であるが、一部で計画停電等の懸念から在庫を積み増していた親会社とその調整を始めたことによる受注の一服感や円高の影響による具体的な海外シフトの動きがみられるなど、先行きの不透明感を危惧する企業が多い。

□平成22年 工業統計調査結果（速報）について

長野県が平成23年9月30日に発表した、「平成22年 工業統計調査結果（速報）」における諏訪地方の主要数値は次のとおりである。

リーマン・ショックの影響にて大きく落ち込んだ平成21年調査に比べると「製造品出荷額等」は幾分回復しているも、「事業所数」、「従業者数」の減少傾向は続いている。

諏訪地方合算	平成20年	平成21年	平成22年	前年比増減数	前年比増減率
事業所数（所）	1,056	892	853	△39	△4.4%
従業者数（人）	29,628	25,980	25,603	△377	△1.5%
製造品出荷額等（百万円）	694,003	471,715	531,487	+59,772	+12.7%

（調査は、従業者4人以上の事業所が対象）

●商業

諏訪地方の9月の天候は台風の影響により不順な天候の日が多く、また月の前半の気温は比較的高かったものの中旬を境に急激に冷え込んだ。台風の影響で野菜価格は高騰し、不順な天候から地元産の松茸等も不作となった。

また、夏に続き今冬も消費者の節電対策が見込まれることから、衣料では保温性の高い機能性肌着を早期に投入するなど、各業種で対応商品の品揃えを強化する動きがみられる。

●観光業

9月の諏訪地域への入り込み客数は、シルバーウィークが5連休となった一昨年には及ばないものの、3連休が2回あったことから8月から引き続き比較的堅調な推移となった。

上諏訪温泉の宿泊客数は台風の影響から新作花火大会当日に宿泊のキャンセルもあったが、月を通した宿泊者数は引き続き堅調であり、総体では前年同月に比べ+10%程度増加した。蓼科・白樺湖などの高原の観光地は2度の台風の影響を受け、前年同月比の宿泊者数は施設により増減区々となっている。

●建設業

市町村の9月の発注工事は、建築工事11件、土木工事・下水道工事63件、その他工事12件の合計86件1,134百万円で、前年同月比で件数は+13件、契約金額は+673百万円の増加となった。県関係の9月の公共工事（地元業者受注分）は21件550百万円で、平成23年4月～9月の累計契約は82件1,888百万円と国道20号線のバイパス工事が計上されていた前年同期累計比で件数は△13件、契約金額は△1,009百万円の減少となった。

民間工事は、諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数は165戸と前年同月比+67戸(+68.4%)の増加となった。また、平成23年4月～8月までの累計着工戸数は516戸で前年同期に比べ+86戸(+20.0%)の増加となっている。新設住宅着工戸数の増加は、住宅金融支援機構の住宅ローン「フラット35S」の1%金利優遇の期限が9月末までに迫り、駆け込み需要が発生しているためである。

●雇用

諏訪地域の8月の有効求人倍率は、前年同月を+0.12ポイント上回り0.80倍と前年同月を17ヶ月連続で上回るなど緩やかではあるが改善傾向が続いている。また、全国の同倍率は0.66倍、長野県の同倍率は0.78倍となっている。

諏訪地域の8月の新規求人（全数）は1,436人で前年同月比+221人(+18.2%)の増加、新規求職者数は1,101人で前年同月比+160人(+17.0%)の増加となっている。業種別の前年同月比の新規求人数は、建設業が+260.9%、派遣業が+170.0%と大幅に増加している。

なお、8月の1件10人以上の人員整理は1件14人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は82人で前年同月に比べ+16人、前月より+3人増加した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	企業により区々であるが、在庫調整等の動きから足元の受注は幾分弱含んでいる。
プリンター	下請企業の受注は弱含みの横這い状況である。
コンタクター・リレー	受注は幾分落ち着いたものの、引き続き堅調に推移している。

2. 輸送用機械

自動車	足元の受注水準は大手メーカーの増産により回復傾向であるが、円高の影響による海外シフトの進展が懸念されている。
ピストンリング・シリンダーライナー	国内自動車メーカーの生産の回復から、地域企業の受注も堅調である。
船外機	新興国向け機種を受注が引き続き好調で、高水準の生産が続いている。

3. 一般機械

工作機械・専用機	アジア等の海外工場向けの設備は、引き続き堅調に推移している。
搬送用機械	各業種向けとも概ね安定した受注となり、受注残高は増加している。
金型	足元の受注は比較的安定しているが、円高等による先行きの不透明感から新規案件の減少がきかれる。
ダイカスト	企業により区々であるが、自動車関連向けの受注は引き続き回復傾向である。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの8月の生産台数は1,179万台で前月比+16.7%増加、前年同月比+22.3%増加となった。8月の出荷台数は国内出荷79万台、海外出荷1,087万台の合計1,167万台で出荷台数全体では前月比+18.3%増加、前年同月比+21.3%増加となっている。デジタル一眼レフカメラ関連の下請企業の受注は、輸出が好調であることや震災による減産分の挽回等から堅調に推移している。
レンズ	在庫確保の動きが一服し、受注状況は落ち着いている。

5. 織 維

ニット	冬物の量産が始まったが、原材料の入荷遅れや値上がりがかきかれる。
-----	----------------------------------

6.食 品

寒天
味噌

台風の影響でスーパー向けの荷動きは幾分弱含んだ。
出荷は平年並みとなっている。

7.製 材

諏訪地方の9月の木造住宅着工戸数は137戸で、前年同月に比べ+55戸の大幅な増加となった。なお、震災後の建材等の品薄状態は改善された。

8.建 設

公共工事

9月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所9件、林道治山工事関係7件、農地整備課2件、その他土木工事3件の合計21件、契約金額550百万円となった。また、平成23年4月～9月の累計契約は82件1,888百万円と国道20号線のバイパス工事が計上されていた前年同期累計比で件数は△13件、契約金額は△1,009百万円の減少となった。

市町村の9月の発注工事は、建築工事11件478百万円、土木工事及び下水道工事63件543百万円、その他工事12件112百万円の合計86件1,134百万円で、前年同月比で件数は+13件、契約金額は+673百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数は165戸で前年同月比では+67戸(+68.4%)の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は+42戸増加の114戸、「貸家」は+22戸増加の44戸、「分譲」は+3戸増加の7戸となった。平成23年4月～8月の年度累計は516戸で前年同期累計に比べ+86戸(+20.0%)の増加となった。

また、長野県内の8月の新設住宅着工戸数は1,378戸で、前年同月比+35.4%の増加となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が906戸で+29.6%増加、「貸家」が320戸で+33.9%増加、「分譲」が152戸で+90.0%増加となった。

新設住宅着工戸数の増加は、住宅金融支援機構の住宅ローン「フラット35S」の1%金利優遇の期限が9月末までに迫り、駆け込み需要が発生しているためである。

9. 商業

諏訪地方の9月の天候は台風の影響により不順な天候の日が多く、また月の前半の気温は比較的高かったものの中旬を境に急激に冷え込んだ。台風の影響で野菜価格は高騰し、不順な天候から地元産の松茸等も不作となった。また、夏に続き今冬も消費者の節電対策が見込まれることから、各業態とも対応商品の品揃えを強化している。

衣料	気温の低下した中旬以降は秋物衣料に動きが出始めた。冬の節電対策として保温性の高い機能性肌着の品揃えを強化している店舗が多い。
食料品	台風と急激な気温低下で野菜の店頭価格は高騰した。昨年は御柱の小宮祭がありオードブルなどの売上が伸びており、その反動もみられる。昨年は豊作であった地元産の松茸や雑きのこは、今年是不作となった。
家電製品	薄型テレビの動きは大幅に弱まっているものの、ブルーレイディスクレコーダーの売れ行きが良い。
自動車	諏訪地方の9月の車庫証明件数（軽自動車除く）は993台と前年同月比+38台（+4.0%）の増加となった。新車の供給が正常化したことに加え、エコカー補助金が前年の9月上旬に終了したことから7ヶ月振りに前年同月を上回った。
ホームセンター	不順な天候から秋のレジャーや園芸用品の動きは弱含んだが、気温の低下から灯油ストーブなどの動きは早まった。

10. 観光

9月の諏訪地域への入り込み客数は、シルバーウィークが5連休となった一昨年には及ばないものの、3連休が2回あったこともあり8月から引き続き比較的堅調な推移となった。

ただし、上旬と中旬に2個の台風の接近、通過による荒れた天気から、新作花火大会の当日に宿泊のキャンセルが出るなどの影響もみられた。

例年に比べ、忘年会の企画や営業等の動きを早めているホテル旅館が多い。

上諏訪温泉	新作花火大会は台風の影響から宿泊のキャンセルもみられたが、月を通した宿泊者数は8月から引き続き堅調であり、総体では前年同月に比べ+10%程度増加した。
蓼科・白樺湖・車山等	入り込み客数は2度の台風の影響を受けた。前年同月比の宿泊者数は、施設により増減区々となっている。
下諏訪温泉	個人客や小グループの宿泊が堅調で、売上は前年同月比+10%程度増加したホテル旅館が多い。
諏訪大社	上社・下社合わせた9月の参拝者数は約60千人と団体客及び個人客とも堅調で御柱年の昨年に比べ約+1千人、一昨年に比べては約+10千人増加した。